

行 政 報 告

第4回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方財政は引き続き厳しい状況であります。計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、防災対策について申し上げます。

今年度の防災訓練は、地震や津波、土砂災害をテーマとした「防災出前講座」を高齢者交通安全教室と合同で開催し、5月17日の大町地区を皮切りに町内5箇所5地区より97名の参加をいただきました。

また、7月18日には、ふれあいハイム長万部で、入所者など26名の参加をいただき、風水害、土砂災害に係る講話を実施しております。

9月10日には、長万部高等学校で災害講話を、11月22日には、あつまんべで北海道から講師を招き、参加者29名のもと「自主防災組織による地域の防災力強化を目指した研修会」を開催し、防災意識の高揚に努めてまいりました。

防災行政無線の関係では、送信局などの設置工事も順調に進み、来年1月からの町内各家庭を訪問しての防災ラジオ配付に向けた準備を進めているところであります。なお、防災ラジオの戸別配付にあたり、本年6月に議決をいただきました工事請負契約の締結について、本定例会に議決の変更を提案いたしております。

今後とも、防災訓練・集会の開催などを通じて、災害に強いまちづくり、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

今年度は、10月27日に神楽坂キャンパスにおいて開催された「東京理

科大学ホームカミングデー２０１９・イン・神楽坂キャンパス」では、ふるさと納税の返礼品のＰＲとして、ホタテのバター醤油焼きの実演販売や理科大連携アグリ事業で生産されている「エンリッチ」ミニトマトとトマトジュースの試食・試飲及び販売を行い、ふるさと納税のパンフレット配布も含めＰＲ活動を実施し、理科大関係者をはじめとした多くの来場者のみなさんからは大変好評でありました。

町内においても、１１月２日と３日に開催された町総合文化祭でミニトマトとトマトジュースの試食・試飲と販売があり、多くの町民が訪れる盛況ぶりでした。

ミニトマトの生産状況は、冷夏と極度の日照不足などで生育が心配されておりましたが、秋以降の日照の回復により徐々に糖度も上がり始め、現在は道内を重点的に販売先確保が順調に進められているところであります。

また、今月中から冬期間の暖房コストを節約するため、温泉熱の利用設備の設置が行われる予定であります。

今後は、地方創生推進交付金事業の最終年度として、次年度以降の自立・自走していける事業とするため、雇用・売上・出荷量などのＫＰＩ目標の達成に向け、引き続き連携する関係企業との協議を密にし、理科大と更なる連携を深め取り組んでまいります。

次に、移動町長室について申し上げます。

町政について町民の方々と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、「移動町長室」を１１月６日から町内４会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ３８人の方々が出席され、来年１月から町内全戸に配付される防災ラジオの実物を使っての説明なども含め、町政全般について町長から報告があり、町民の皆様からは、ハザードマップの改訂を求める意見など災害対策全般についてや、町職員の電話対応について、国道の除雪対策、知来農場の悪臭問題、新幹線建設工事に関すること、町立病院の再編統合報道への心配の声、町道本通線の道道昇格による整備に関する事など、広範囲な分野において多くのご意見・ご要望などをいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。

次に、北海道日本ハムファイターズ市町村応援大使の決定について申し上げます。

この度、北海道日本ハムファイターズが毎年取り組んでいる”北海道全力応援プロジェクト”で、選手が市町村のまちづくり・まちおこし・PRなどに寄与できる、市町村応援大使の2020年シーズンに本町も応募しておりましたが、全道179市町村の中から募集対象の18市町村に本町が見事当選いたしました。

11月24日に札幌ドームで開催された「北海道日本ハムファイターズ・ファンフェスティバル2019」において、2020年シーズンの「北海道179市町村応援大使」の各市町村担当選手を決める抽選会があり、これには町内の少年野球チーム「長万部ソウルズ」の子どもたちと保護者の方々も参加しての抽選を行った結果、2020年の長万部町の応援大使は「斎藤佑樹」選手と「石川亮」選手の2名が決定いたしました。

これにより、1年間の期間限定ではありますが、選手肖像や球団ロゴ等において、町のポスター・広報紙・ホームページ等への掲載、特産品のプロモーションなどへの活用といったことが可能となります。

今後は、貴重な機会をいただきましたので、両名選手による本町のPRや町内イベントなどを企画していきますので、ご報告させていただきます。

次に、北海道新幹線工事関係について申し上げます。

現在、町内では4件のトンネル工事が契約されており、そのうち2件のトンネル工事が本坑掘削中であります。

11月30日現在で、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち982メートルが、また、内浦トンネルの静狩工区は本坑5,570メートルのうち587.6メートルが掘削されたところであります。

立岩トンネルの豊津工区、豊野トンネル他工区についても、来年度の掘削開始に向け、施工計画の準備を進めております。

また、北海道新幹線に関して、町内の任意団体の「長万部を創造する会」から1,259名の町内外の方々が署名した「長万部高速貨物基地誘致に関する嘆願書」の提出があり、10月29日に受理いたしました。

鉄道貨物に関しては、現在、国において北海道新幹線の高速化のため、青函物流の抜本的な転換を模索していると聞いておりますが、北海道の経済や住民生活に重大な影響を及ぼす可能性があるため、慎重な議論が望まれるところであります。

町としては、今回の大規模な嘆願行動を重く受け止め、今後、関係機関や利害関係者からの情報収集に努めるとともに、しかるべき時期、しかるべき相手に対して必要な対応を検討していく判断材料といたします。

次に、シャクシャインロード事業について申し上げます。

シャクシャイン没後350年の今年を契機とし、地元地域の歴史と文化の理解向上を図ることを目的として取り組んできたシャクシャインロード事業について、慰霊の旗リレーを国縫から新ひだかの区間で9月7日から23日の期間で実施いたしました。

我が町では、たたかい当時の移動方法にならって、国縫のシャクシャイン古戦場跡碑から静狩までは砂浜を中心に約22キロメートルを徒歩で、静狩から豊浦までは船を用いて慰霊の旗を運びました。

砂浜の歩行では複数の区間を設定して、延べ31名が参加し、また船の移動では慰霊の旗のパッチワークを製作した静狩地区の子どもたち7名が同乗し、豊浦漁港での引継ぎセレモニーには豊浦町の子どもたちを含む延べ25名が参加しました。

その後、新ひだか町までの約240キロメートルをすべて徒歩で移動し、12自治体と各地区のアイヌ協会の協力を得ながら、延べ325名の参加をいただいて、9月23日に新ひだか町にゴールし、慰霊の旗を新ひだか町に引継ぎいたしました。

また、リレーに使用した慰霊旗は、その後、アイヌ文化刺しゅうに多大な協力をいただいた苫小牧アイヌ協会によって、10月26日、27日に第

7 1 回 苫小牧市民文化祭で展示され、長万部町内においても、11月2日、3日に行われた第57回長万部町総合文化祭で展示したところであります。さらに、慰霊旗のうち1枚は、新ひだか町のシャクシャイン記念館で常設展示を行う予定となっております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

今年度4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は約1,007トンで、前年度同期と比較し約2トン増加しております。

また、ごみの減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、役場窓口での随時受付と5月の巡回地域回収を実施し、今年度は10月末で245キログラムの衣類を回収いたしました。長万部町地域女性団体連絡協議会でも2回の衣類回収について、ご協力をいただいております。

廃食用油は、今年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに無料回収ボックスを設置して、現在までに520リットルを回収しており、使用済小型家電についても、同じく役場庁舎内の無料回収ボックスで、500キログラムを回収しております。

町民の皆様には、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

山越郡衛生処理組合は、令和2年3月31日をもって解散することを9月の定例会において議決をいただき確定しているところであります。

解散に伴う財産処分につきましては、長万部町にすべて帰属させる予定で、本定例会に提案いたしております。

し尿処理施設については、解体設計を行い解体整理する予定となっております。

し尿及び浄化槽汚泥の収集、運搬、処分につきましては、令和2年度より各町において実施することになりますので、本定例会に関係条例を提案いたしております。

次に、町民の健康増進等について申し上げます。

健康づくりの推進につきましては、特定健診やがん検診といった各種

検診を実施しており、受診率向上のため無料クーポン券の配付や、対象者への電話勧奨等を積極的に行っております。

次の特定健診・がん検診は、2月に実施する予定でありますので、引き続き受診勧奨等に努め、受診率向上を目指してまいります。

園児や生徒を対象とした健康教室では、11月7日に幼稚園で食育教室を開催し、栄養バランスについての講話と、園児が育てた野菜を使った調理実習を実施し、食育に関する理解を深めました。

また、小学校4年生と高校3年生を対象に開催した育児体験教室では、お母さんにインタビューをしたり、赤ちゃんとおふれあい、命の大切さを学んでいただきました。

次に、インフルエンザ等の予防について申し上げます。

高齢者のインフルエンザ予防接種は、11月末現在824人から申請がありました。

インフルエンザ流行の時期でもあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図ってまいります。このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

次に、幼児教育・保育の無償化について申し上げます。

国においては、幼児期の教育及び保育の重要性に鑑み、総合的な少子化対策を推進する一環として、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、本年10月から幼児教育・保育を無償化する制度が創設されたところであります。

本町におきましても、3つの児童施設すべてが無償化の対象となり、さかえ保育所39人、マリア幼稚園38人、いずみ保育園14人の合計91人の子どもたちの保育料等が無償化され、保護者の経済的負担が軽減されております。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会は、９月７日を皮切りに２５地域２２会場で実施され、対象者１，１９１人に対し５３５人の出席をいただき、出席率は４４．９％となりました。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦労をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることをお願いいたします。

また、今年も長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、９月９日から１１日までと１３日から１６日までの計７日間、老人福祉センターを無料開放したところ３０６人が利用されました。

さらに、町内にある公衆浴場についても助成を行い、無料開放を実施したところ７３５人が利用されました。

１１月６日には、福祉センターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が１２クラブ１００人の参加で開催されました。

次に、冬期福祉給付金(福祉灯油)について申し上げます。

本格的な冬に向かい、灯油料金、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者等で低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、生活支援体制整備事業について申し上げます。

明るく活力ある超高齢化社会を構築するために、あらゆる住民が役割を持ち、助け合いながら暮らすことができる地域共生社会の実現が求められております。

昨年４月に発足した１０名の会員からなる長万部町生活支援体制整備事業協議体において、高齢者の地域課題の低減・解消に向けた住民主体の助け合い活動についてアイディアを出し合い、長万部町社会福祉協議会に所属している生活支援コーディネーターがパイプ役となり取組を進

めております。『話し合いの場しゃべれ〜る』では、本年度は4つのプロジェクトチームが立ち上がり、地域食堂やゴミ出し支援、高校生との防災教室、ご長寿訪問を試行しており、その成果報告会を2月に開催を予定しております。今後は、より多くの町民のみなさんにこの事業を知っていただき、共に支え合う体制づくりを目指してまいります。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、大きな天候の崩れも無く、おおむね平年並の収量を確保している状況であります。

生乳生産量は、4月から9月まで約5,046トンを出荷し、前年に比べ約97トンの減となり、乳代は約4億5,981万円で、前年に比べ約420万円の減となっております。

黒毛和牛の4月から9月までの販売頭数は135頭、販売金額は1億262万8千円で、前年同期と比較して、販売頭数は5頭の増で、販売金額は502万3千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、10月25日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は64,697頭で、前年に比べ170頭の増となりました。

新規就農者対策としては、8月31日に函館市で開催された「第3回おしま農業のお仕事フェア」、9月7日に東京都で開催された「新・農業人フェア」、10月27日に札幌市で開催された「北海道新規就農フェア」に長万部町のブースを出展し、農業に興味がある来場者8組8名の就農相談があり、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業は、蕨岱地区の搬出間伐事業16.2ヘクタールを10月18日に完了しており、平成30年度に立木販売事業にて皆伐を行った平里地区の町有地に地拵・植栽事業として3ヘクタールを10月30日に完了しております。

また、森林整備センターとの分収造林事業の国縫地区19.27ヘクタールの除伐（Ⅱ）事業は、9月10日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での11月末現在の種苗の生育状況は、へい死・変形等は昨年に比べ少なく、順調に生育しておりますが、春の耳吊り時期までの生育状況を渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

また、成貝は12月からの水揚げが予定されておりましたが、生育不良により、来年2月からの出荷を予定しております。

町単独事業でありますホタテ貝稚貝緊急対策事業及び国のアイヌ政策推進交付金事業にて行ったホタテ貝稚貝管外移入作業は、両事業共に本年11月末までに終了しております。

本年の秋鮭漁は、11月22日現在、漁獲量は約456トンで、前年に比べ約92トンの減となっており、漁獲金額も約2億2,365万円で、前年に比べ約9,578万円の減収となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業の業況は、原材料価格の上昇や人手不足への懸念など、中小企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、中小企業の健全育成と経営安定のため、国や道の様々な金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定窓口等の設置を行っております。

また、長万部商工会では、会員の高齢化や後継者不足などにより、会員数が衰退傾向にあることから、地域活性化を図るため、昨年度から後継者対策を含む経営改善等の支援を実施しており、本年度は既に17事業者が申請し、経営改善に努めております。

上期の観光客入り込み数は、昨年度の約29万1千6百人に対し、本年度は約29万1千7百人と、ほぼ横ばいで推移しており、依然として通過型の観光客が中心となっていることが窺えます。この通過型観光から滞在型観光への変換を図るため、6月に町内主要団体を構成員とした「長万部町観光地域づくり協議会」を立ち上げ、モニターツアーを実施

し、インバウンドをはじめとした通過型観光客を滞在型にし町内への経済効果を生むべく、体験観光の受入体制強化に努めております。

また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されたサッポロビアガーデンふるさとPRステージに参加したほか、東京都葛飾区で10月25日から27日に開催された第35回葛飾区産業フェアへ昨年に引き続き出展し、長万部町の観光PR並びに特産品の販売を行いました。

これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めております。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や訪問押し買い詐欺、料金不正請求など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置するとともに、全国消費者生活情報ネットワークを活用して全国の最新苦情相談情報を収集しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、引き続き消費生活相談員を配置することにより、被害防止講座の開催、関連する部署間の情報交換や町広報での消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害の予防に努めてまいります。

次に、建設関係について申し上げます。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事について、工期内の11月14日に完成しております。

建築事業では、長万部町住生活基本計画及び公営住宅長寿命化計画策定業務委託について、令和2年3月13日までの工期で業務実施中であります。

その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、長万部中央跨線橋の高欄が腐食、欠損している部分について、これを補修する長万部中央跨線橋高欄補修工事は10月25日に完成しております。

土木事業のうち河川関係では、茶屋川地区の普通河川に堆積した土砂を除去するための普通河川千島川維持工事については、工期内の10月7日に完成しております。また、流水により崩落した護岸を復旧する普通河川南栄川修繕工事につきましても、工期内の9月13日に完成しております。

国の社会資本整備総合交付金事業を活用して実施する、橋梁長寿命化のための知岱橋修繕工事を12月20日までの工期で、同じく国の交付金を活用する長万部町橋りょう点検調査業務委託を令和2年1月31日までの工期でそれぞれ施工中であります。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月1日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

公園事業では、ふれあい公園第2キューピクル更新工事につきましても、工期内に完成しております。今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、10月31日で終了いたしました。キャンプ場の利用者は3,730人で、昨年度に比べ25.6%の増となっております。

あやめ公園パークゴルフ場の利用者は5,040人で、昨年度に比べ7.8%の減となっております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

下水道マンホール蓋交換外修繕工事は、11月11日に完了しております。また、終末処理場内の返送汚泥ポンプ分解整備外修繕工事は、令和2年1月28日までの工期で施工中であります。

昨年度から引き続いて、し尿・浄化槽汚泥を下水道施設で受け入れて処理をする汚水処理施設共同整備事業は、完成期限を令和2年3月31日までとしたMICS棟建設工事を順調に施工中であります。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の本町２・３号線工区及び北１２号線外工区は、それぞれ９月２５日に完了しております。

また、天然ガス事業関連での天然ガス及び温泉湯送管入替移設工事は、１１月２９日に完了しております。

次に、病院事業について申し上げます。

町立病院関係では、１０月１日付で内科臨時医師１名を採用し、医療体制の充実を図っております。

また、医療用画像管理システム一式の納入を９月１９日に完了しております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年１１月末日現在の火災発生件数は５件で、建物が２件・車両が１件・野火が２件発生しております。救急件数は２４６件で、うちドクターヘリでの搬送は１３件となっており、昨年同期より火災が２件の増、救急が３１件の減、ドクターヘリ搬送件数は３件の増となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中、全町にポスターや「火の用心」の旗を掲示したほか、福祉施設や旅館、大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による街頭啓発や防火訪問、各地域の分団による防火査察や防火広報を実施しました。

救急関係の事業では、長万部高校のインターンシップ研修生に対し普通救命講習を実施したほか、水産加工研修生・保育所・老人施設・学校等を対象とした救急講習を行い１８４名が受講いたしております。

消防団の事業については、１１月１７日に新入団員４名を対象に教育訓練を実施いたしました。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、一部改正、各会計補正予算など、合わせて２４件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。